



平成 23 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 22 年 7 月 30 日

上場会社名 株式会社七十七銀行 上場取引所 東 札
 コード番号 8341 URL <http://www.77bank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 氏家 照彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 小林 英文 (TEL) 022(267)1111
 四半期報告書提出予定日 平成 22 年 8 月 5 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無 特定取引勘定設置の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(記載金額、比率等は単位未満を切り捨てて表示しております。)

1. 平成 23 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|------------------|--------|-------|-------|------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23 年 3 月期第 1 四半期 | 29,754 | △11.6 | 7,027 | 1.2 | 3,930 | △6.3 |
| 22 年 3 月期第 1 四半期 | 33,684 | △1.1 | 6,942 | △3.7 | 4,195 | △11.2 |

| | 1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益 | 潜在株式調整後 1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益 |
|------------------|----------------------|------------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23 年 3 月期第 1 四半期 | 10.36 | 10.35 |
| 22 年 3 月期第 1 四半期 | 11.06 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総 資 産 | 純 資 産 | 自己資本比率 | 1 株 当 たり 純 資 産 |
|------------------|-----------|---------|--------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23 年 3 月期第 1 四半期 | 5,910,630 | 348,780 | 5.7 | 896.23 |
| 22 年 3 月期 | 5,906,852 | 356,271 | 5.9 | 916.36 |

(参考) 自己資本 23 年 3 月期第 1 四半期 339,930 百万円 22 年 3 月期 347,565 百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|-------------|-------------|-------------|------|------|
| | 第 1 四 半 期 末 | 第 2 四 半 期 末 | 第 3 四 半 期 末 | 期 末 | 合 計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22 年 3 月期 | — | 3.50 | — | 3.50 | 7.00 |
| 23 年 3 月期 | — | — | — | — | — |
| 23 年 3 月期(予想) | — | 3.50 | — | 3.50 | 7.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成 23 年 3 月期の連結業績予想 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 |
|-----------------|---------|------|--------|------|--------|------|--------------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第 2 四 半 期 (累 計) | 57,500 | △8.8 | 10,500 | 49.6 | 6,000 | 47.1 | 15.82 |
| 通 期 | 115,000 | △4.5 | 21,000 | 1.6 | 12,000 | 3.0 | 31.64 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.2「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

② ①以外の変更 : 有・無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 23年3月期1Q | 383,278,734株 | 22年3月期 | 383,278,734株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|------------|--------|------------|
| 23年3月期1Q | 3,990,054株 | 22年3月期 | 3,990,006株 |
|----------|------------|--------|------------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 23年3月期1Q | 379,287,914株 | 22年3月期1Q | 379,312,526株 |
|----------|--------------|----------|--------------|

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|---|---|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. その他の情報 | 2 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 2 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 2 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書【第 1 四半期連結累計期間】 | 5 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 6 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 6 |
| 【説明資料】平成 2 2 年度第 1 四半期決算について【単体ベース】 | 7 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、貸出金利息の減収等により資金運用収益が減少したほか、有価証券売却益の減少等もあって、経常収益は、前年同期比39億30百万円減少の297億54百万円となりました。

一方、経常費用は、預金利息等の資金調達費用が減少したほか、前年同期に有価証券（投資信託）の解約に伴う損失を計上していたこと等から、前年同期比40億16百万円減少の227億26百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比85百万円増加の70億27百万円となりました。

四半期純利益は、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を特別損失に計上したことから、前年同期比2億65百万円減少の39億30百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の連結財政状態につきましては、総預金（譲渡性預金を含む）は、個人預金を中心に前連結会計年度末比350億円増加し、5兆3,968億円となりました。

一方、貸出金は、地公体等向け貸出等の増加により前連結会計年度末比129億円増加し、3兆4,516億円となりました。また、有価証券は国債を中心に前連結会計年度末比1,847億円増加し、2兆1,273億円となりました。

なお、総資産の当第1四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末比37億円増加し、5兆9,106億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成22年5月14日に公表した業績予想から修正はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当ありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

「簡便な会計処理」の内容

①減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、年間減価償却費見積額を期間により按分し計上しております。

②貸倒引当金の計上方法

「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、前連結会計年度末の貸倒実績率等を適用して計上しております。

③税金費用の計算

法人税等につきましては、年度決算と同様の方法により計算しておりますが、納付税額の算出に係る加減算項目及び税額控除項目は、重要性の高い項目に限定して適用しております。

④繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められるため、同年度末の検討において使用した将来の業績予測等を適用しております。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

当第 1 四半期連結会計期間から「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第 18 号平成 20 年 3 月 31 日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 21 号平成 20 年 3 月 31 日）を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益は 574 百万円減少しております。なお、経常利益への影響は軽微であります。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は 610 百万円であります。

②表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 22 号平成 20 年 12 月 26 日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成 21 年 3 月 24 日内閣府令第 5 号）の適用により、当第 1 四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|----------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 現金預け金 | 87,261 | 324,624 |
| コールローン及び買入手形 | 22,544 | 4,225 |
| 買入金銭債権 | 19,934 | 16,128 |
| 商品有価証券 | 44,126 | 28,334 |
| 金銭の信託 | 44,773 | 47,666 |
| 有価証券 | 2,127,395 | 1,942,624 |
| 貸出金 | 3,451,665 | 3,438,682 |
| 外国為替 | 1,935 | 1,208 |
| リース債権及びリース投資資産 | 25,473 | 26,685 |
| その他資産 | 34,658 | 29,857 |
| 有形固定資産 | 40,241 | 40,708 |
| 無形固定資産 | 1,151 | 1,211 |
| 繰延税金資産 | 31,865 | 25,869 |
| 支払承諾見返 | 30,418 | 31,679 |
| 貸倒引当金 | △52,814 | △52,655 |
| 資産の部合計 | 5,910,630 | 5,906,852 |
| 負債の部 | | |
| 預金 | 5,096,818 | 5,043,629 |
| 譲渡性預金 | 299,990 | 318,150 |
| コールマネー及び売渡手形 | 29,640 | 41,402 |
| 債券貸借取引受入担保金 | 9,837 | 18,020 |
| 借入金 | 12,512 | 13,632 |
| 外国為替 | 83 | 99 |
| その他負債 | 35,233 | 37,387 |
| 役員賞与引当金 | — | 38 |
| 退職給付引当金 | 46,395 | 45,599 |
| 役員退職慰労引当金 | 48 | 66 |
| 睡眠預金払戻損失引当金 | 185 | 214 |
| 偶発損失引当金 | 685 | 659 |
| 支払承諾 | 30,418 | 31,679 |
| 負債の部合計 | 5,561,849 | 5,550,580 |
| 純資産の部 | | |
| 資本金 | 24,658 | 24,658 |
| 資本剰余金 | 7,843 | 7,843 |
| 利益剰余金 | 284,844 | 282,241 |
| 自己株式 | △2,106 | △2,106 |
| 株主資本合計 | 315,240 | 312,637 |
| その他有価証券評価差額金 | 25,261 | 35,485 |
| 繰延ヘッジ損益 | △572 | △557 |
| 評価・換算差額等合計 | 24,689 | 34,928 |
| 新株予約権 | 147 | 110 |
| 少数株主持分 | 8,703 | 8,595 |
| 純資産の部合計 | 348,780 | 356,271 |
| 負債及び純資産の部合計 | 5,910,630 | 5,906,852 |

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 経常収益 | 33,684 | 29,754 |
| 資金運用収益 | 21,322 | 20,657 |
| (うち貸出金利息) | 15,400 | 14,340 |
| (うち有価証券利息配当金) | 5,804 | 6,241 |
| 役務取引等収益 | 4,189 | 4,139 |
| その他業務収益 | 6,518 | 4,145 |
| その他経常収益 | 1,653 | 811 |
| 経常費用 | 26,742 | 22,726 |
| 資金調達費用 | 2,596 | 1,787 |
| (うち預金利息) | 2,026 | 1,401 |
| 役務取引等費用 | 1,255 | 1,287 |
| その他業務費用 | 6,344 | 3,562 |
| 営業経費 | 15,312 | 15,314 |
| その他経常費用 | 1,232 | 775 |
| 経常利益 | 6,942 | 7,027 |
| 特別利益 | 43 | 0 |
| 固定資産処分益 | 41 | — |
| 償却債権取立益 | 1 | 0 |
| その他の特別利益 | — | 0 |
| 特別損失 | 14 | 602 |
| 固定資産処分損 | 14 | 31 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 570 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,971 | 6,426 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,643 | 1,873 |
| 法人税等調整額 | 980 | 495 |
| 法人税等合計 | 2,623 | 2,369 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | | 4,057 |
| 少数株主利益 | 152 | 126 |
| 四半期純利益 | 4,195 | 3,930 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当ありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当ありません。

平成22年度第1四半期決算について【単体ベース】

1. 収益状況

平成22年度第1四半期累計期間のコア業務純益は71億60百万円となり、役員取引等利益の減少および経費の増加を主因に、前年同期比△2.5%、1億88百万円の減益となりましたが、5月14日に公表した平成22年度第2四半期累計期間（中間期）の業績予想130億円に対する進捗率は55%と、ほぼ計画どおりに推移しております。

また、当四半期の経常利益は64億97百万円、四半期純利益は37億95百万円と、コア業務純益と同様にほぼ計画どおりに推移しており、現時点において業績予想の修正はありません。

(単位:百万円)

| | 22年度 第1四半期 累計期間 (3ヵ月間) | 前年同期比 | 21年度 第1四半期 累計期間 (3ヵ月間) | 22年度 第2四半期 累計期間 業績予想 (6ヵ月間) |
|--------------------------|---------------------------------|----------------|---------------------------------|---|
| 経常収益 | 25,427 | △ 3,695 | 29,122 | 50,000 |
| 業務粗利益 | 21,244 | 474 | 20,770 | |
| [コア業務粗利益] | [21,335] | [△ 13] | [21,348] | |
| 資金利益 | 18,765 | 124 | 18,641 | |
| 役員取引等利益 | 2,427 | △ 127 | 2,554 | |
| その他業務利益 | 52 | 476 | △ 424 | |
| うち国債等債券損益 | △ 91 | 486 | △ 577 | |
| うち外国為替売買損益 | 103 | 25 | 78 | |
| 経費 | 14,175 | 176 | 13,999 | |
| うち人件費 | 7,064 | 150 | 6,914 | |
| うち物件費 | 6,303 | △ 7 | 6,310 | |
| 一般貸倒引当金繰入前業務純益 | 7,069 | 298 | 6,771 | |
| [コア業務純益] | [7,160] | [△ 188] | [7,348] | [13,000] |
| 一般貸倒引当金繰入額① | - | △ 940 | 940 | |
| 業務純益 | 7,069 | 1,238 | 5,831 | |
| 臨時損益 | △ 556 | △ 1,291 | 735 | |
| うち株式等関係損益 | 117 | △ 519 | 636 | |
| うち不良債権処理損失(△)② | 324 | 421 | △ 97 | |
| うち金銭の信託運用損益 | 141 | △ 421 | 562 | |
| 経常利益 | 6,497 | △ 50 | 6,547 | 10,000 |
| 特別損益 | △ 570 | △ 597 | 27 | |
| うち貸倒引当金戻入益③ | 31 | 31 | - | |
| うち資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額(△) | 570 | 570 | - | |
| 法人税、住民税等(調整額含) | 2,131 | △ 285 | 2,416 | |
| 四半期(中間)純利益 | 3,795 | △ 363 | 4,158 | 6,000 |
| 与信関係費用[①+②-③] | 292 | △ 550 | 842 | |

(注) 1. コア業務粗利益=業務粗利益-国債等債券損益

コア業務純益 = 業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券損益

2. 22年度第2四半期累計期間業績予想は、平成22年5月14日に公表したものであります。

(参考 1)

平成22年度第 1 四半期は、一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金の合計額が取崩となりましたことから、特別利益に貸倒引当金戻入益を計上しております。

なお、仮に特別利益に計上しない場合は、下記右図のとおりとなります。

(単位:百万円)

| | 22年度 第 1 四半期 累計期間 (3 ヶ月間) | 22年度 第 1 四半期 累計期間 (3 ヶ月間) | 前年同期比 |
|------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------|
| 一般貸倒引当金繰入前業務純益 [コア業務純益] | 7,069 [7,160] | 7,069 [7,160] | 298 [△ 188] |
| 一般貸倒引当金繰入額 ① | - | △ 198 | △ 1,138 |
| 業務純益 | 7,069 | 7,267 | 1,436 |
| 臨時損益 | △ 556 | △ 723 | △ 1,458 |
| うち株式等関係損益 | 117 | 117 | △ 519 |
| うち不良債権処理損失(△) ② | 324 | 490 | 587 |
| 貸出金償却 | - | - | - |
| 個別貸倒引当金純繰入額 | - | 166 | 513 |
| 債権売却損等 | 101 | 101 | △ 6 |
| 偶発損失引当金繰入額等 | 222 | 222 | 80 |
| うち金銭の信託運用損益 | 141 | 141 | △ 421 |
| 経常利益 | 6,497 | 6,528 | △ 19 |
| 特別損益 | △ 570 | △ 601 | △ 628 |
| うち貸倒引当金戻入益 ③ | 31 | - | - |
| うち資産除去債務会計基準 の適用に伴う影響額(△) | 570 | 570 | 570 |
| 法人税、住民税等(調整額含) | 2,131 | 2,131 | △ 285 |
| 四半期純利益 | 3,795 | 3,795 | △ 363 |
| 与信関係費用 [① + ② - ③] | 292 | 292 | △ 550 |

(参考 2)

有価証券関係損益の内訳は下記のとおりとなります。

(単位:百万円)

| | 22年度 第 1 四半期 累計期間 | 前年同期比 | 21年度 第 1 四半期 累計期間 |
|------------------|-------------------------|---------|-------------------------|
| 国債等債券損益 | △ 91 | 486 | △ 577 |
| 売却益 | 5 | △ 2,119 | 2,124 |
| 償還益 | - | - | - |
| 売却損 | - | △ 16 | 16 |
| 償還損 | 96 | △ 2,589 | 2,685 |
| 償却 ① | - | - | - |
| 株式等関係損益 | 117 | △ 519 | 636 |
| 売却益 | 121 | △ 576 | 697 |
| 売却損 | 0 | △ 33 | 33 |
| 償却 ② | 3 | △ 24 | 27 |
| 金銭の信託運用損益 | 141 | △ 421 | 562 |
| 運用損益に含まれた減損処理額 ③ | - | - | - |
| 有価証券減損処理額 ①+②+③ | 3 | △ 24 | 27 |

2. 主要勘定等の状況（末残ベース）

（1）貸出金

貸出金は、地公体等向け貸出等の増加により22年3月末比127億円増加しました。前年同期との比較では、中小企業等向け貸出の増加を主因に1.5%、534億円の増加となりました。
(単位:億円、%)

| | 22年6月末 | | | 22年3月末 | 21年6月末 |
|-------------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 22年3月末比 | 21年6月末比 | | |
| 貸出金 | 34,638 | 127 | 534 | 34,511 | 34,104 |
| うち中小企業等向け貸出 | 18,860 | △ 388 | 490 | 19,248 | 18,370 |
| 中小企業向け | 11,049 | △ 424 | 199 | 11,473 | 10,850 |
| 個人向け | 7,811 | 36 | 291 | 7,775 | 7,520 |
| うち住宅ローン | 7,004 | 61 | 339 | 6,943 | 6,665 |
| うち地公体等向け貸出 | 7,183 | 172 | △ 200 | 7,011 | 7,383 |
| 中小企業等貸出比率 | 54.4 | △ 1.4 | 0.6 | 55.8 | 53.8 |

(うち宮城県内)

| | | | | | |
|-------------|--------|-------|-------|--------|--------|
| 貸出金 | 26,186 | △ 128 | 121 | 26,314 | 26,065 |
| うち中小企業等向け貸出 | 16,123 | △ 331 | 255 | 16,454 | 15,868 |
| 中小企業向け | 8,563 | △ 370 | △ 39 | 8,933 | 8,602 |
| 個人向け | 7,560 | 39 | 294 | 7,521 | 7,266 |
| うち住宅ローン | 6,809 | 62 | 337 | 6,747 | 6,472 |
| うち地公体等向け貸出 | 7,110 | 172 | △ 196 | 6,938 | 7,306 |
| 中小企業等貸出比率 | 61.5 | △ 1.0 | 0.7 | 62.5 | 60.8 |
| 宮城県内貸出金シェア | 45.1 | 0.3 | 0.1 | 44.8 | 45.0 |

(注) 22年6月末の宮城県内貸出金シェアは、22年5月末の計数。

（2）有価証券

有価証券残高は、国債を中心に22年3月末比1,860億円増加しました。前年同期との比較でも18.7%、3,348億円の増加となりました。

(単位:億円)

| | 22年6月末 | | | 22年3月末 | 21年6月末 |
|------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 22年3月末比 | 21年6月末比 | | |
| 有価証券 | 21,182 | 1,860 | 3,348 | 19,322 | 17,834 |
| 債 | 20,257 | 2,005 | 3,451 | 18,252 | 16,806 |
| 国債 | 8,851 | 1,216 | 564 | 7,635 | 8,287 |
| 地方債 | 1,232 | 38 | 157 | 1,194 | 1,075 |
| 短期社債 | - | - | △ 90 | - | 90 |
| 社債 | 7,517 | 646 | 2,327 | 6,871 | 5,190 |
| その他 | 2,657 | 105 | 493 | 2,552 | 2,164 |
| 株式 | 925 | △ 145 | △ 103 | 1,070 | 1,028 |

（3）預金（譲渡性預金を含む）

預金と譲渡性預金の合計額は、個人預金を中心に22年3月末比 361億円増加し、前年同期との比較でも1.8%、986億円の増加となりました。

（単位：億円、%）

| | 22年6月末 | | | 22年3月末 | 21年6月末 |
|------------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 22年3月末比 | 21年6月末比 | | |
| 預金＋譲渡性預金合計 | 54,009 | 361 | 986 | 53,648 | 53,023 |
| うち個人預金 | 37,549 | 975 | 905 | 36,574 | 36,644 |

（うち宮城県内）

| | | | | | |
|------------|--------|-------|-------|--------|--------|
| 預金＋譲渡性預金合計 | 49,964 | 1,207 | 1,377 | 48,757 | 48,587 |
| うち個人預金 | 35,602 | 974 | 924 | 34,628 | 34,678 |
| 宮城県内預金シェア | 52.6 | △ 0.4 | 0.4 | 53.0 | 52.2 |

（注）1. 宮城県内預金シェア（譲渡性預金は含まない）は、ゆうちょ銀行を除く。

2. 22年6月末の宮城県内預金シェアは、22年5月末の計数。

（4）預り資産残高

預り資産残高は、基準価額の下落を主因に投資信託の残高が減少したこと等から、22年3月末比 139億円減少の 6,241億円となりました。前年同期との比較では4.4%、268億円増加しました。

（単位：億円）

| | 22年6月末 | | | 22年3月末 | 21年6月末 |
|--------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 22年3月末比 | 21年6月末比 | | |
| 預り資産残高 | 6,241 | △ 139 | 268 | 6,380 | 5,973 |
| 投資信託 | 793 | △ 92 | 80 | 885 | 713 |
| 個人年金保険 | 829 | 51 | 224 | 778 | 605 |
| 公共債 | 4,489 | △ 91 | △ 48 | 4,580 | 4,537 |
| 外貨預金 | 130 | △ 7 | 12 | 137 | 118 |

3. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示

要管理債権以下の合計残高は、22年3月末比 6億円減少の 1,046億円となりました。

不良債権（要管理債権以下）比率は、22年3月末比0.03ポイント低下し2.97%となりました。

(単位:億円)

| | 22年6月末 | | 22年3月末 |
|-------------------|--------|---------|--------|
| | | 22年3月末比 | |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 282 | 12 | 270 |
| 危険債権 | 510 | △ 11 | 521 |
| 要管理債権 | 253 | △ 7 | 260 |
| 小計 (A) | 1,046 | △ 6 | 1,052 |
| 正常債権 | 34,151 | 152 | 33,999 |
| 合計 (B) | 35,197 | 146 | 35,051 |
| 不良債権比率 (A) / (B) | 2.97% | △ 0.03% | 3.00% |

(参考) 部分直接償却を実施した場合

当行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の不良債権比率は2.63%となります。

(単位:億円)

| | 22年6月末 | | 22年3月末 |
|-------------------|--------|---------|--------|
| | | 22年3月末比 | |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 162 | 9 | 153 |
| 危険債権 | 510 | △ 11 | 521 |
| 要管理債権 | 253 | △ 7 | 260 |
| 小計 (A) | 926 | △ 9 | 935 |
| 正常債権 | 34,151 | 152 | 33,999 |
| 合計 (B) | 35,077 | 143 | 34,934 |
| 部分直接償却額 | 120 | 3 | 117 |
| 不良債権比率 (A) / (B) | 2.63% | △ 0.04% | 2.67% |

4. 有価証券の評価差額

(単位:億円)

| | 22年6月末 | | | 22年3月末 | | |
|------------|--------|-----|-----|--------|-----|-----|
| | 評価差額 | うち益 | うち損 | 評価差額 | うち益 | うち損 |
| 満期保有目的 | - | - | - | - | - | - |
| 子会社・関係会社株式 | - | - | - | - | - | - |
| その他有価証券 | 436 | 737 | 301 | 573 | 733 | 160 |
| 株式 | 234 | 278 | 44 | 376 | 389 | 13 |
| 債券 | 435 | 436 | 1 | 321 | 326 | 5 |
| その他 | △ 233 | 23 | 256 | △ 124 | 18 | 142 |

5. 自己資本比率

平成22年6月末の自己資本比率（国内基準）については、現在算出中であり、確定次第、別途開示する予定であります。